

EVOX

JMIX9

アクティブ 3 ウェイシステム

1 安全 / 使用上の注意	4
2 製品説明	6
3 リアパネル / コントロール	7
4 ミキサー	8
5 梱包内容	10
6 設置	11
7 接続	13
8 トラブルシューティング	14
寸法	15
仕様	16
修理 / 保証 / サポートについて	18

1. 安全 / 使用上の注意

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。
本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について



「必ず守ってください」という強制を表しています。



「絶対にしないでください」という禁止を表しています。



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。



水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



電源コードや接続ケーブルは安全に配置すること

電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



専用電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



確実に接地すること（アース）

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



移動するときはケーブルを全て抜くこと

電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



電源コードを濡れた手でさわらないこと

感電の原因となる場合があります。



長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



電源コードは必ずこの製品に付属のものを使うこと

適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



禁止

本体の換気用開口部を塞がないこと

本体内部の温度上昇を防ぐため、この製品の表面には換気用開口部があります。この開口部を塞ぐと適切に換気ができず、内部の温度が上昇して故障や火災、誤作動の原因になる場合があります。



必ず実行

他の機器と接続するときはこの製品の電源を切っておくこと

接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと

ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。



必ず実行

電源ソケットに手が届くよう設置すること

この製品の背面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源ソケットに簡単に手が届くよう設置してください。

**注意**

この記号は取り扱いを誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること

本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと

この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないでください。本体が故障する原因になります。



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと

本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。



禁止

テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと

この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること

定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する場合があります。特に歪にはご注意ください。



禁止

この製品に付属している電源コードをほかの電気用品に使用しないこと

この製品に付属している電源コードはこの製品専用のものです。ほかの電気用品には絶対に使用しないでください。



禁止

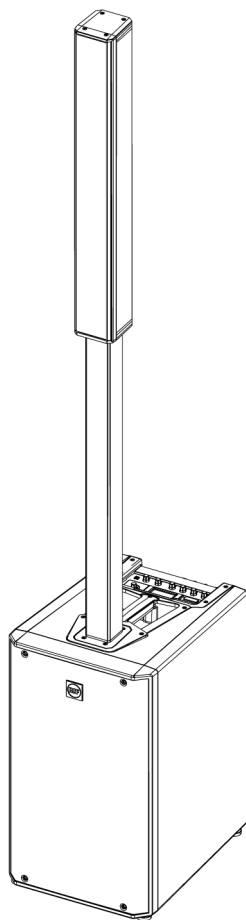
高温になる場所に設置しないこと

直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上でろうそくなど裸火を置かないでください。

EVOX J MIX9 - アクティブ 3 ウェイシステム

RCF EVOX J MIX9 は、8 チャンネルステレオデジタルミキサーを搭載したアクティブ 3 ウェイポータブルスピーカーです。EVOX J9 のクリアで遠達性に優れた拡声性能に加え、デジタルミキサー、フルカラータッチディスプレイ、ロータリーエンコーダー、Bluetooth® オーディオストリーミング、さらに専用アプリ「J MixRemote」によるリモートコントロール機能を搭載しています。EVOX J MIX9 は、デジタルミキシング、柔軟な信号ルーティング、ワイヤレス管理を 1 台に統合し、プロフェッショナルな音響システムをシンプルかつコンパクトに実現します。コンボ入力、ステレオ /AUX 出力、EQ、リバーブ、ファンタム電源、最大 135ms の出力ディレイを備え、幅広い音響用途に対応します。

※Bluetooth® は Class 2 に対応しており、最大約 10m の範囲でオーディオストリーミングが可能です。



EVOX J MIX9

12" ウーファー
6 x 3" ネオジウム フルレンジ
1.75" ネオジウム コンプレッションドライバー
130 dB 最大 SPL
指向角 H 120° x V 40°

1 PRESET

このボタンを押してプリセットを選択します。

LINEAR LIVE (上部 LED が点灯)  :フラットな周波数特性を実現するプリセットで、自然でバランスの取れたサウンドを提供します。小規模バンドのライブ演奏などに最適です。

CLUB (両方の LED が点灯)  :低域を強調し、抜けの良い高域再生を可能にするプリセットです。低域を力強く際立たせ、迫力と没入感のあるサウンドを実現します。DJセットや、中〜小音量での音楽再生時にラウドネス効果を得たい場合にも最適です。

VOICE (下部 LED が点灯)  :ボーカル帯域を強調するプリセットで、明瞭度と聞き取りやすさを最大限に高めます。会議、プレゼンテーション、スピーチ用途に最適です。

2 PRESET LED 選択されているプリセットを LED で表示します。

3 BALANCED INPUT コンボジャックを採用したバランスライン入力端子です。標準フォン端子および XLR オス端子に対応します。

4 STEREO OUTPUT / LINK ミキサーがバイパスモードの場合、この XLR 出力端子はスピーカーをデジチェーン接続するためのループスルーとして機能します。ミキサーを使用している場合、右チャンネルのミキサー出力がこの端子に割り当てられ、別のスピーカーへ信号を送りステレオシステムを構築することが可能です。左右のチャンネルを入れ替えることもできます。

5 OVERLOAD/SIGNAL LED この LED は以下の内容を示します。

SIGNAL  SIGNAL LED はメインのコンボジャックに信号が入力されている場合緑に光ります。

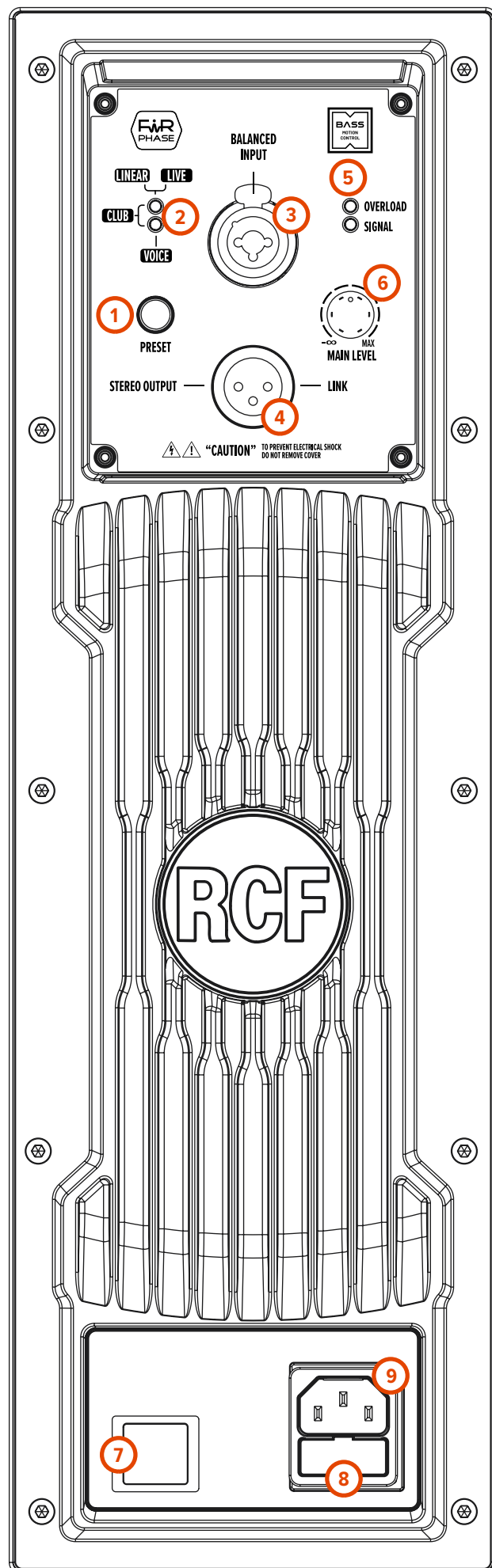
OVERLOAD  OVERLOAD LED は入力信号が過負荷の場合に光ります。時々点滅する程度なら問題ありませんが、光る頻度が高いまたは常に光っている場合には、信号レベルを下げて音の歪みを防いでください。ただし、アンプには内蔵リミッター回路が搭載されており、入力のクリッピングやトランスデューサーのオーバードライブを防ぐようになっています。

6 MAIN LEVEL マスターボリュームを調整します。

7 主電源スイッチ AC 電源の ON / OFF を切り替えるスイッチです。

8 ヒューズキャリア ヒューズが入っています。

9 IEC 標準コネクタ 電源ケーブルを接続する端子です。



警告！注意！ スピーカーの接続作業は、十分な技術的知識または適切な指示を受けた有資格かつ経験豊富な担当者のみが行ってください。

感電を防ぐため、アンプの電源が入っている状態でスピーカーを接続しないでください。

システムの電源を入れる前に、すべての接続を確認し、ショートしている箇所がないことを確認してください。

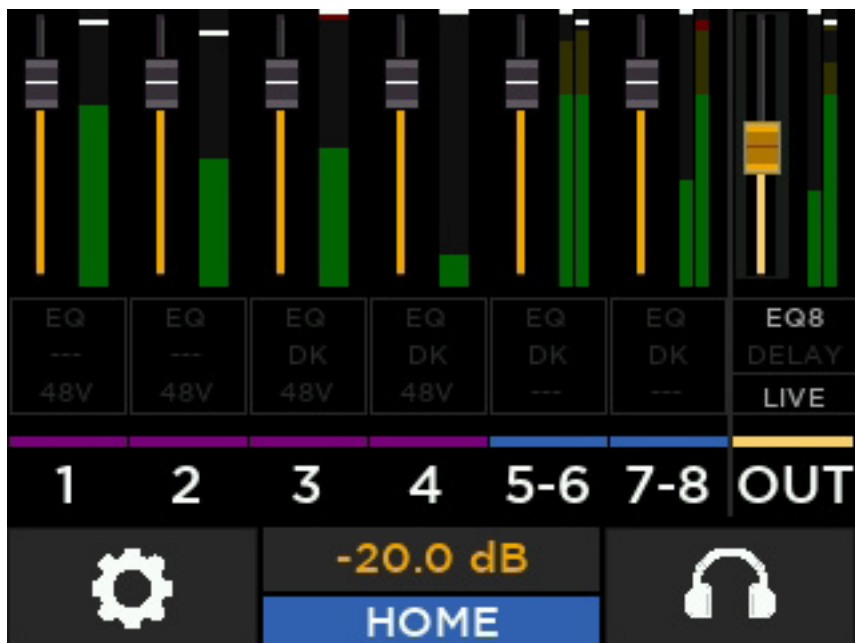
音響システム全体は、電気設備に関する現行の地域法規および関連規制に準拠して設計・設置してください。



- ① **USB / HEADPHONE** USB Type-C 端子と 3.5 mm ミニジャック端子です。
- ② **フルカラースクリーン** 2.4 インチフルカラーのタッチスクリーンです。
- ③ **MAIN LEVEL** MAIN LEVEL を調節できる専用エンコーダーです。その他の機能については別紙「EVOX JMX9 リファレンスガイド」をご確認ください。
- ④ **エンコーダー × 6** ディスプレイの画面に連動してアサインされる機能が変わります。詳しくは、別紙「EVOX JMX9 リファレンスガイド」をご確認ください。
- ⑤ **MULTI KEY** All Mute、Attenuation、FX Mute、Ducker などの機能を自由にアサインできるボタンです。また、10 秒間長押し、スクリーンロック機能を有効にすることも可能です。詳しくは、別紙「EVOX JMX9 リファレンスガイド」をご確認ください。

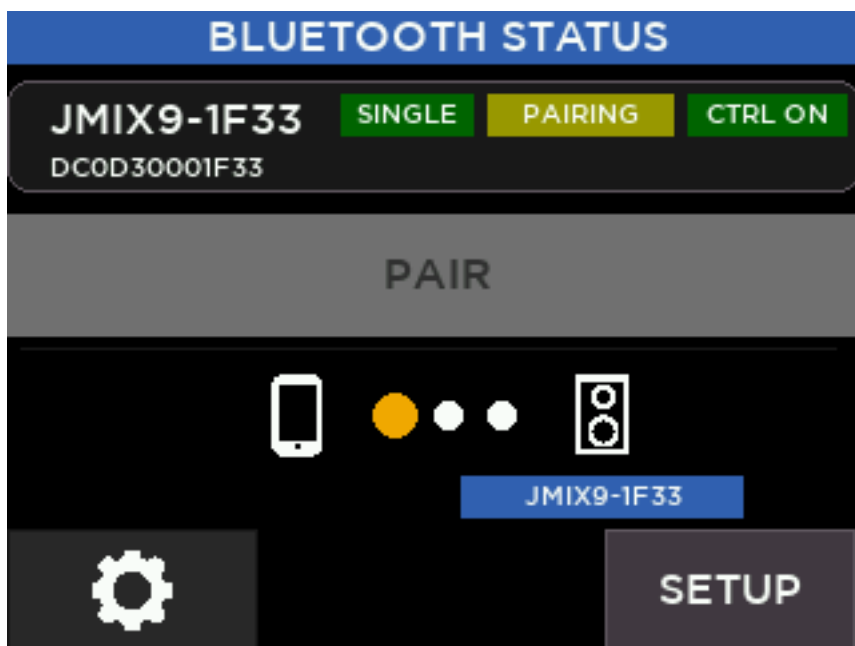


ミキサー (HOME 画面)



EVOX JMX9 ミキサーのメイン画面です。

MAIN / MIX レベルはディスプレイ右横のエンコーダーで調整でき、設定した値は画面の下部中央に dB 単位で表示されます。入力レベル (1 / 2 / 3 / 4 / 5-6 / 7-8) を設定するには、ディスプレイ下のエンコーダーを使用します。その他のパラメーターの詳細については、別紙「EVOX JMX9 リファレンスガイド」を参照してください。



EVOX JMX9 は Class 2 Bluetooth 対応デバイスです。Bluetooth オーディオ接続は、スピーカーから 10 m の範囲内で行うことが推奨されます。実際の通信可能範囲は、送信側のデバイスや、通信経路上の障害物、人の有無などによって変動する可能性があります。EVOX JMX9 とペアリングしたデバイスを移動させると、正常な通信が妨げられ、音楽の再生が途切れることがあります。

オーディオストリーミング

オーディオストリーミング用にスピーカーとデバイスを接続するには、**SETTINGS** ページに移動し、右下のボタンをタップして Bluetooth 設定画面を開き、**PAIR** をタップします。次に、接続するデバイス側で Bluetooth 設定画面を開き、接続可能なデバイスリストから **EVOX JMX9** を選択します。デバイスの OS によっては、2 つの項目が表示される場合があります。この場合、末尾が **_LE** となっている項目はオーディオストリーミング用ではないため、接続しないでください。EVOX JMX9 の Bluetooth デバイス名は、初期設定の **EVOX JMX9** から変更も可能です。

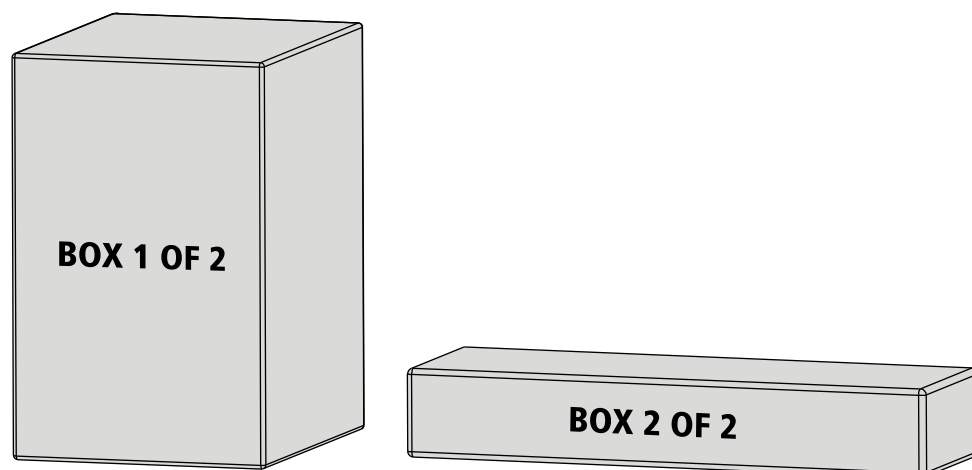
BLE コントロール

iOS または Android デバイスから JMixRemote アプリに接続するには、アプリを起動し、画面下部の **DEVICES** タブから **SCAN** を実行し、EVOX JMX9 スピーカーが表示されたら **CONNECT** をタップして接続します。

SETUP ボタンをタップし、Bluetooth のその他の設定を行うこともできます。接続ステータスやモードは、ディスプレイの上部エリアに表示されます。

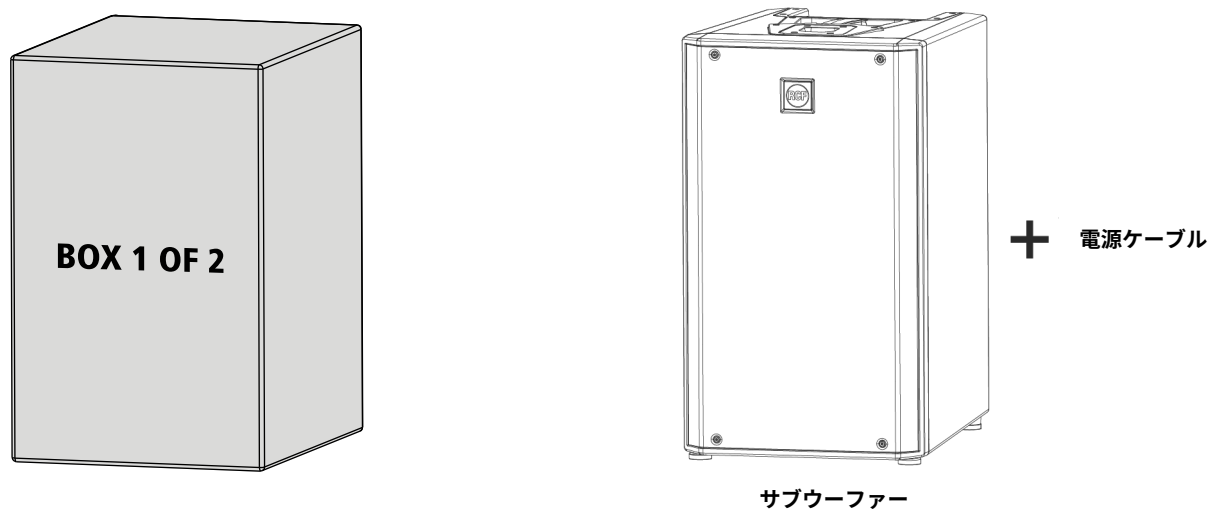
5. 梱包内容

EVOX J MIX9 は複数パーツで構成されており、組み立て作業が必要なため、「BOX 1 of 2」「BOX 2 of 2」の2つの梱包に分けて出荷されています。これにより、各部品の損傷リスクを低減するとともに、配送時および組み立て時の取り扱いがしやすくなっています。



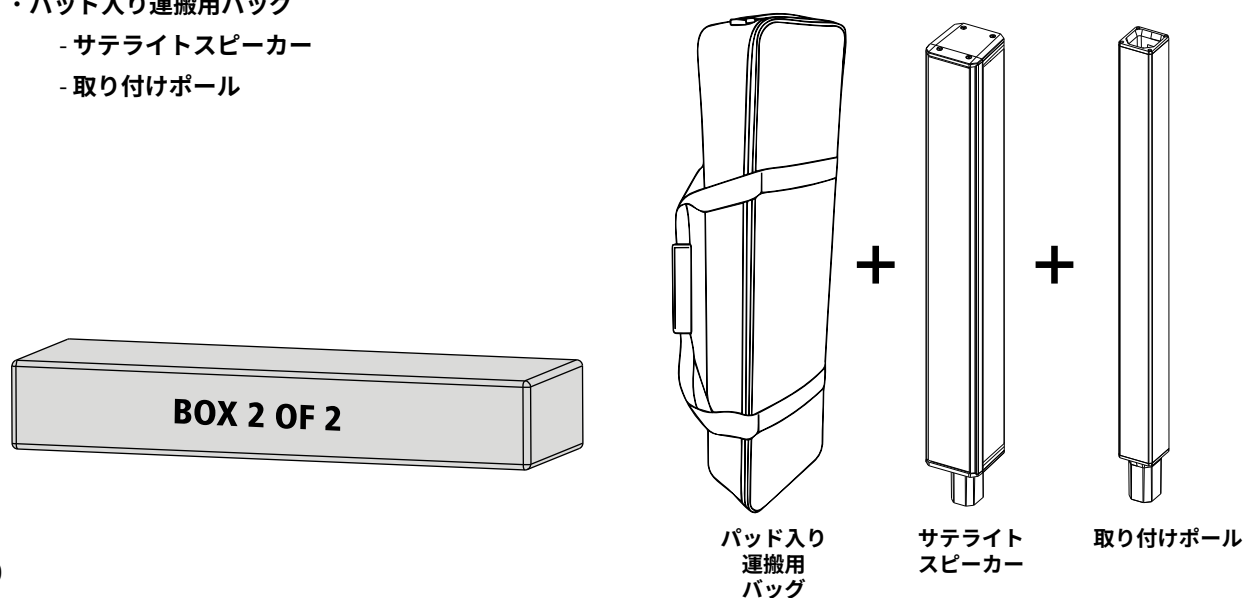
「BOX 1 of 2」

- ・サブウーファー（ミキサー内蔵）
- ・システムの電源ケーブル

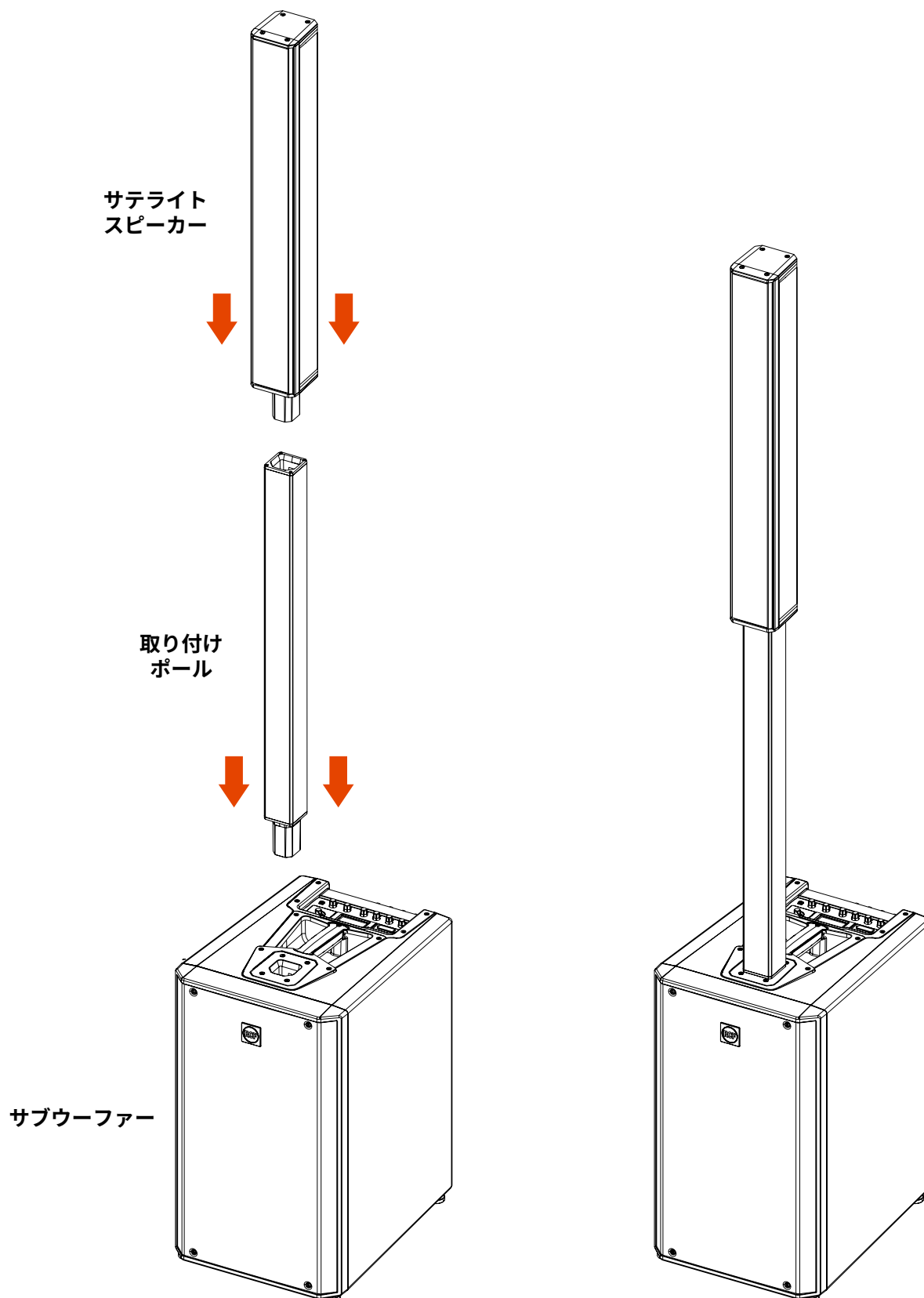


「BOX 2 of 2」

- ・パッド入り運搬用バッグ
- サテライトスピーカー
- 取り付けポール

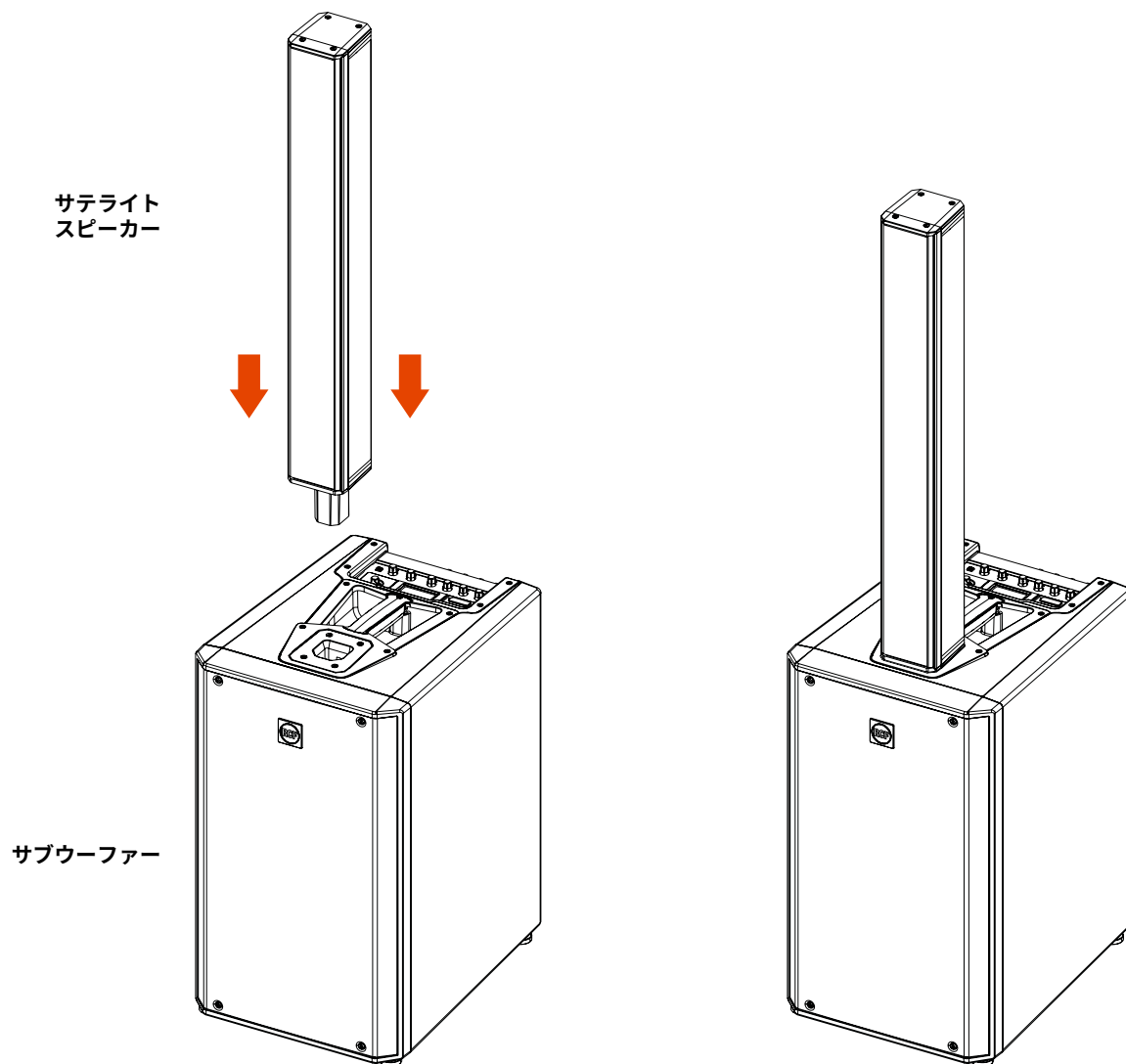


システムを組み立てるには、まず**取付けポール**を**サブウーファーユニット**の接続スロットに差し込みます。その後、**サテライトスピーカー**をポールに取り付けます。これでシステムの組み立ては完了です。最後に「Box 1 of 2」に同梱されている電源ケーブルを接続すれば、EVOX JMIX9 を使用することができます。



6. 設置

EVOX JMIX9 は、サテライトスピーカーをサブウーファースの接続スロットに直接取り付け構成でも使用できます。この構成は、EVOX JMIX9 をステージ上に設置する場合や、垂直方向の音の拡散を抑えたいセットアップに最適です。コンパクトで設置が容易なデザインを維持しながら、オーディエンスに向けてより的確にフォーカスされたサウンドを届けることができます。特に小〜中規模の会場、企業イベント、ライブパフォーマンスなど、迅速な設営と省スペースが求められる用途にも最適です。



EVOX JMIX9 は、別売のハーフサイズポールを組み合わせた構成も可能です。ハーフサイズポールは、以下の2通りの構成で使用できます。

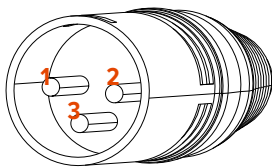
- ・ サブウーファー + ハーフサイズポール + サテライトスピーカー
- ・ サブウーファー + ハーフサイズポール + 同梱フルサイズポール + サテライトスピーカー



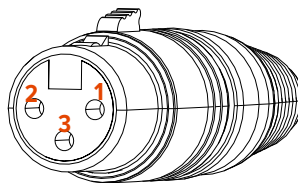
本マニュアルに記載の構成以外での使用は、保証の対象外となります。必ず本マニュアルに記載の構成でご使用ください。

XLR 端子および TRS フォン端子は、AES の標準基準に沿って配線されている必要があります。

XLR 端子オス
バランス配線

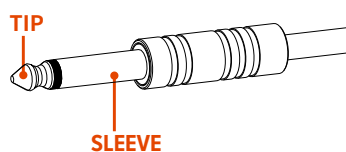


XLR 端子メス
バランス配線

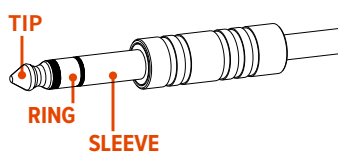


PIN 1 = GROUND (SHIELD)
PIN 2 = HOT (+)
PIN 3 = COLD (-)

TRS フォン端子
アンバランスモノラル配線



TRS フォン端子
バランスモノラル配線



SLEEVE = GROUND (SHIELD)
TIP = HOT (+)
RING = COLD (-)

スピーカーに接続する前に

リアパネルには、すべてのコントロール類、信号入力および電源入力が配置されています。まず、リアパネルの電圧表示ラベル (115V) を確認してください。表示電圧がご使用環境と異なる場合、またはラベルが見当たらない場合は、配線前に販売店または音響特機 RCF カスタマーサポートへご連絡ください。これにより、機器の損傷を防ぐことができます。電圧の切り替えが必要な場合も、販売店または音響特機 RCF カスタマーサポートへご連絡ください。本作業ではヒューズの交換が必要となるため、音響特機 RCF カスタマーサポートでのみ実施可能です。

スピーカーの電源を入れる前に

スピーカーの電源を入れる前に、ボリュームコントロールが最小位置になっていることを確認してください (ミキサーの出力レベルも同様に最小にしてください)。スピーカーの電源を入れる前に、必ずミキサーの電源が入っていることを確認してください。これにより、オーディオ機器の起動時に発生するポップノイズを防ぎ、スピーカーへのダメージを回避できます。一般的に、スピーカーは最後に電源を入れ、使用後は最初に電源を切ることが推奨されます。

保護

EVOX JMX9 には、包括的な保護回路システムが搭載されています。この回路は音声信号に対して穏やかに動作し、レベルを制御しながら歪みを許容範囲内に維持します。

電源が入らない

電源に正しく接続されていることを確認したうえで、スピーカーの電源スイッチを入れてください。

スピーカーが電源に接続されているが電源が入らない

電源ケーブルに傷がないか、正しく接続されているかを確認してください。

スピーカーの電源は入るが、音が出ない

音源が正しく再生されているかを確認し、ケーブルが断線していないかを確認してください。

音が歪んでおり OVERLOAD LED がよく光る

ミキサーの出力レベルを下げてください。

音のレベルが低く雑音が入る

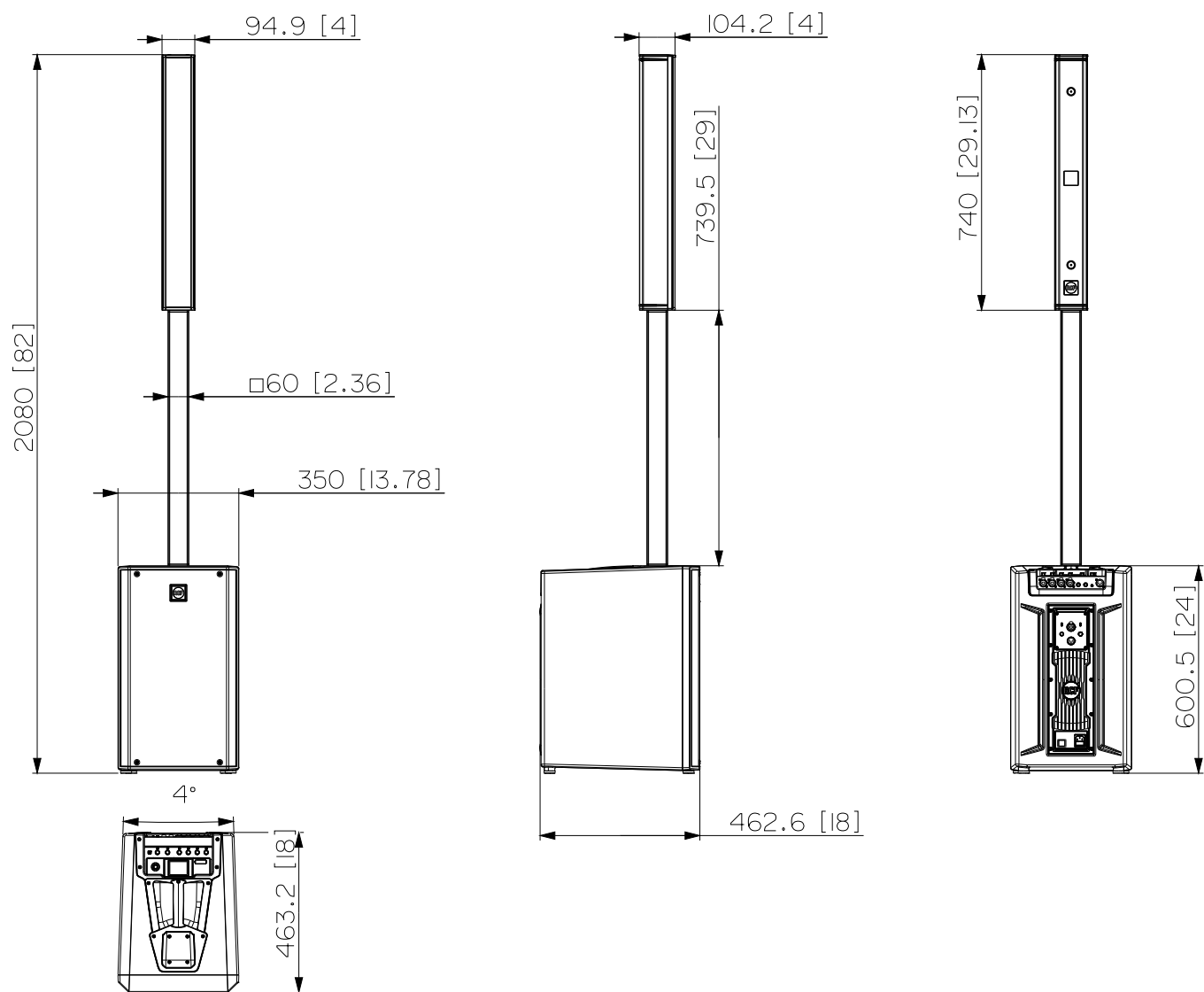
音源のゲインまたはミキサーの出力レベルが低すぎる可能性があります。

正しいゲインとボリュームを設定しているが、雑音が入る

音源の音質が低いまたは雑音を送っている可能性があります。

機器がブーンと唸る

電源のアース接続、およびミキサー入力に接続されているすべての機器（ケーブルやコネクタを含む）を確認してください。



音響特性	周波数特性	40 Hz – 20 kHz
	最大 SPL @ 1m	130 dB
	水平カバー角	120°
	垂直カバー角	40°
トランスデューサー	HF	1 x 0.75" neo, 1.75" v.c
	Full-Range Array	6 x 3.0" neo, 1.0" v.c
	LF	1 x 12", 2.5" v.c
入出力部	入力信号	バランス / アンバランス
	入力端子	コンボ XLR/Jack
	出力端子	XLR
	入力感度	-2 dBu/+4 dBu
プロセッサー部	クロスオーバー周波数	200 Hz / 1800 Hz
	保護回路	熱保護, RMS
	リミッター	ソフトリミッター
	コントロール	デジタルミキサー (タッチスクリーンと物理エンコーダーを組み合わせで操作)
電源部	トータルパワー	2100 W Peak
	高周波数	700 W Peak
	低周波数	1400 W Peak
	冷却	対流方式
物理特性	接続	VDE規格準拠
	キャビネット / ケース素材	ポリプロピレン複合材
	ハンドル	天面 × 1
	ポールマウント / キャップ	可能 (クイックフィットソケット)
サイズ	グリル	スチール
	カラー	黒, 白 (RAL 9003)
	寸法 (H×W×D)	2080.1 × 350 × 460 mm (同梱ポール使用時)
	質量	28.8 kg
別売アクセサリ	ハーフサイズポール (2 個 SET)	PMK60768 (黒) , PMK60770 (白)
	保護カバー	CVR60767
	ハンドル・キャスター付き保護カバー	CVR60751

電子回路部	周波数特性	20 Hz – 20 kHz
	THD+N, 20 dB Gain, 0 dBu Out	0.003% A-Weighted
プロセッシング	チャンネル数	8
	シグナルプロセッシング	32 ビット
入力	A/D-D/A変換	24 ビット@48.0 kHz
	ダイナミックレンジ	114 dB
出力	マイク入力数	4
	ゲインデータのリモート保存	対応
出力仕様	ゲイン調整範囲	0 dB – 36 dB
	入力ノイズレベル	-114 dBu A-Weighted
コンプレッサー	マイク入力インピーダンス	3 kΩ
	ローカット	20 Hz – 400 Hz
EQ	ファンタム電源 +48V	対応
	モノラルライン入力数	4
AUX センド	ゲイン調整範囲	0 dB – 36 dB
	ライン入力インピーダンス	10 kΩ
内部エフェクト	A/D ダイナミックレンジ	120 dB
	ステレオライン入力数	2
マスタリングプロセッサー	ゲイン調整範囲	固定
	ステレオライン入力インピーダンス	24 kΩ
マスタリングプロセッサー	メインミックス出力数	1
	FX センド数	1
マスタリングプロセッサー	AUX センド数	1
	AUX出力数	1
マスタリングプロセッサー	ヘッドフォン出力数	1
	メイン出力インピーダンス	150 Ω
マスタリングプロセッサー	メイン出力レベル	20 dBu
	AUX 出力インピーダンス	150 Ω
マスタリングプロセッサー	AUX 出力レベル	20 dBu
	ヘッドフォン出力インピーダンス	100 Ω
マスタリングプロセッサー	ヘッドフォン出力レベル	20 dBu
	D/A ダイナミックレンジ	118 dB
マスタリングプロセッサー	RCF コンプレッサー	MIC/LINE Ch1 – Ch4 入力に搭載
	入力チャンネル EQ	1 セミパラメトリック / 2 シェルビング
マスタリングプロセッサー	詳細	3 バンド EQ：入力にて高域・低域はシェルビング、中域はピーク 8 バンド EQ：6× フルパラメトリック，1× 高域シェルビング， HPF（アンプおよび MAIN 出力，12 dB/oct）
	AUX センド	1 プリ / ポスト
マスタリングプロセッサー	FX ポスト	1
	センドエフェクト	1
マスタリングプロセッサー	メイン出力プロセッサー	1
	メイン出力タイプ	MIX 出力，STEREO/MONO 出力，AUX 出力，ヘッドフォン出力

修理について

日本国内仕様の RCF 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。RCF 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- 弊社ホームページ (www.otk.co.jp) の「修理依頼」より「REPAIR カード」をダウンロードしてください。「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、FAX (03-5534-6783) もしくはメール (repair@otk.co.jp) でお送りください。折り返し修理受付番号と製品送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナズマニュアルと電源コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。
- 修理状況によっては見積もり金額が変動する場合があります。
- 修理をキャンセルした場合、キャンセル料が発生する場合があります。予めご了承ください。

保証

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。

保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- お買い上げ後の輸送 / 移動 / 落下などによる故障および損傷
- ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損害

サポート

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは以下の通りです。

音響特機 RCF カスタマーサポート

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1 CSS ビルディング 5F
TEL: 03-3639-7800
FAX: 03-3639-7801

故障 / 修理や保守についてのお問い合わせは以下の通りです。

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1 階 B 棟
株式会社日本システムサービス内
FAX: 03-5534-6783
Email: repair@otk.co.jp

営業日：月曜日～金曜日 9：00～17：30
休業日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

